

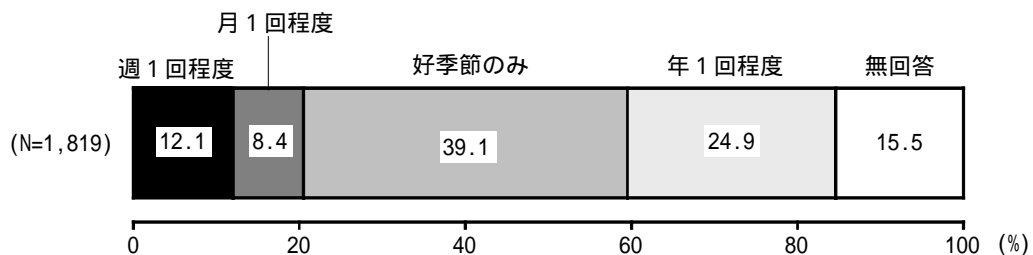
5 . 公園について

5 - 1 . 公園の利用頻度

公園の利用頻度は「好季節のみ」が4割

問10 . あなたは、公園を利用していますか(は1つだけ)

【図5 - 1 公園の利用頻度】

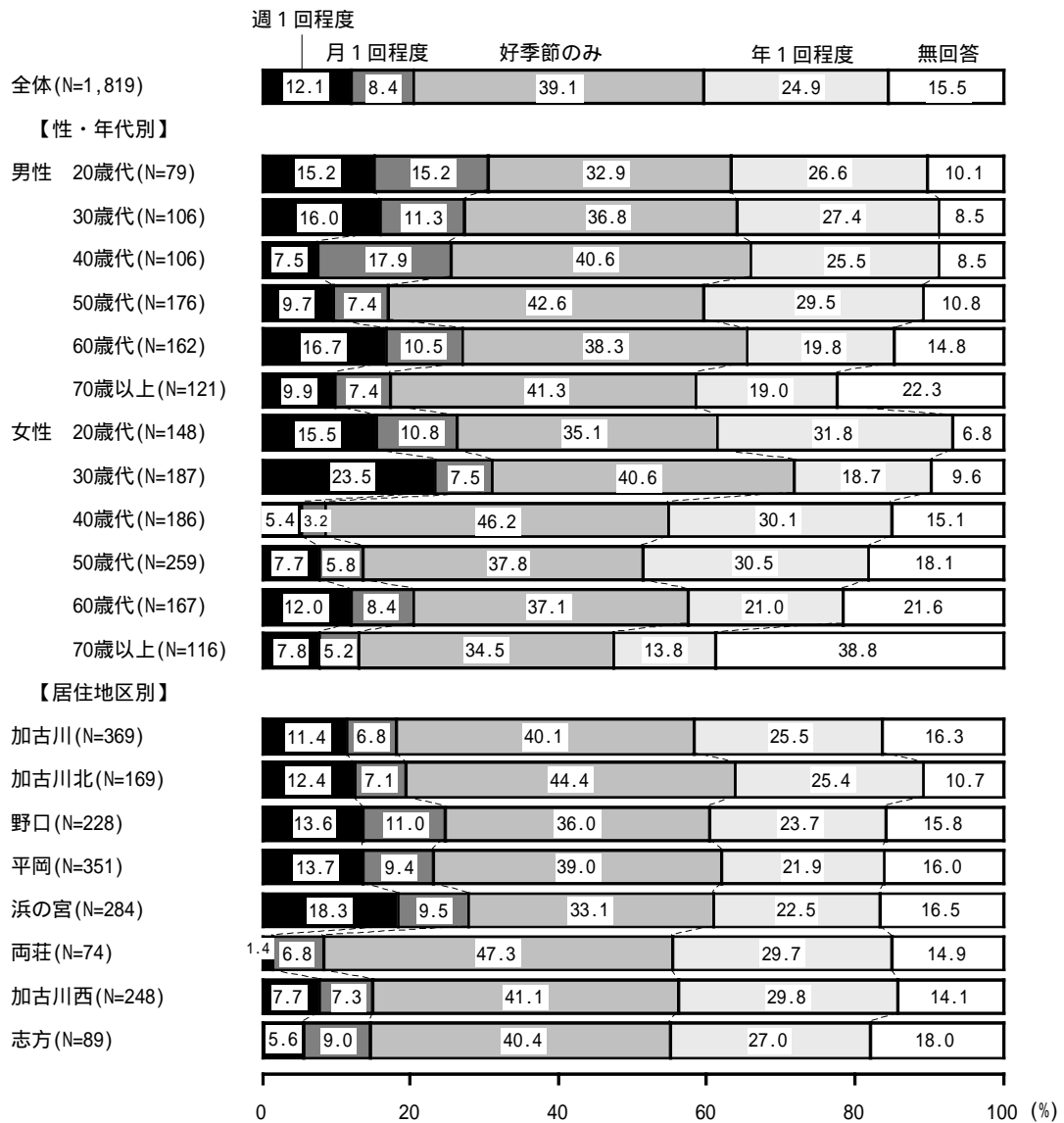


公園の利用頻度については、「好季節のみ」が39.1%と最も多く、次いで「年1回程度」24.9%となっており、利用頻度は低い。なお「週1回程度」は12.1%、「月1回程度」は8.4%となっている。(図5 - 1)

性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても「好季節のみ」が最も多く、40歳代女性で46.2%と最も高くなっている。なお、「週1回程度」は全体で12.1%であるのに対し、30歳代で男性16.0%、女性23.5%、60歳代男性で16.7%と高くなっており、「月1回程度」は全体で8.4%であるのに対し、20~40歳代の男性で1割から2割と高くなっている。(図5 - 1 - 1)

居住地区別にみると、いずれの地区においても全体の傾向と同様である。なお、「週1回程度」は浜の宮地区で18.3%、「月1回程度」は野口地区で11.0%と最も高くなっている。(図5 - 1 - 1)

【図5 - 1 - 1 性・年代別、居住地区別 公園の利用頻度】

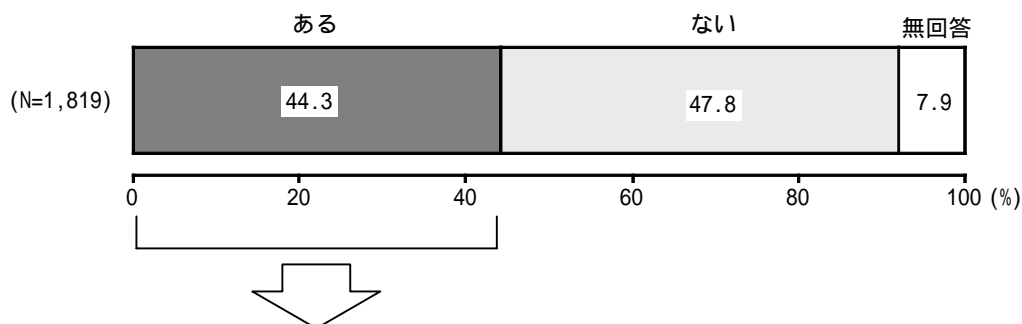


5 - 2 . 公園についての希望

公園についての希望が「ある」人は4割強

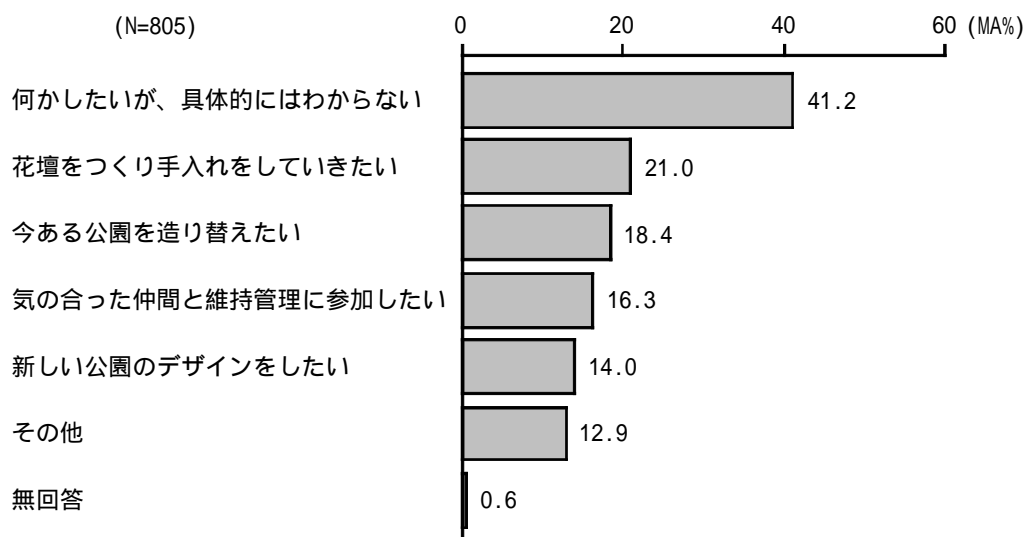
問11. あなたは、公園について『こうしたい』といった希望がありますか。

【図5 - 2 公園についての希望の有無】



問11 - 1. それは、どのようなことですか (はいくつでも)

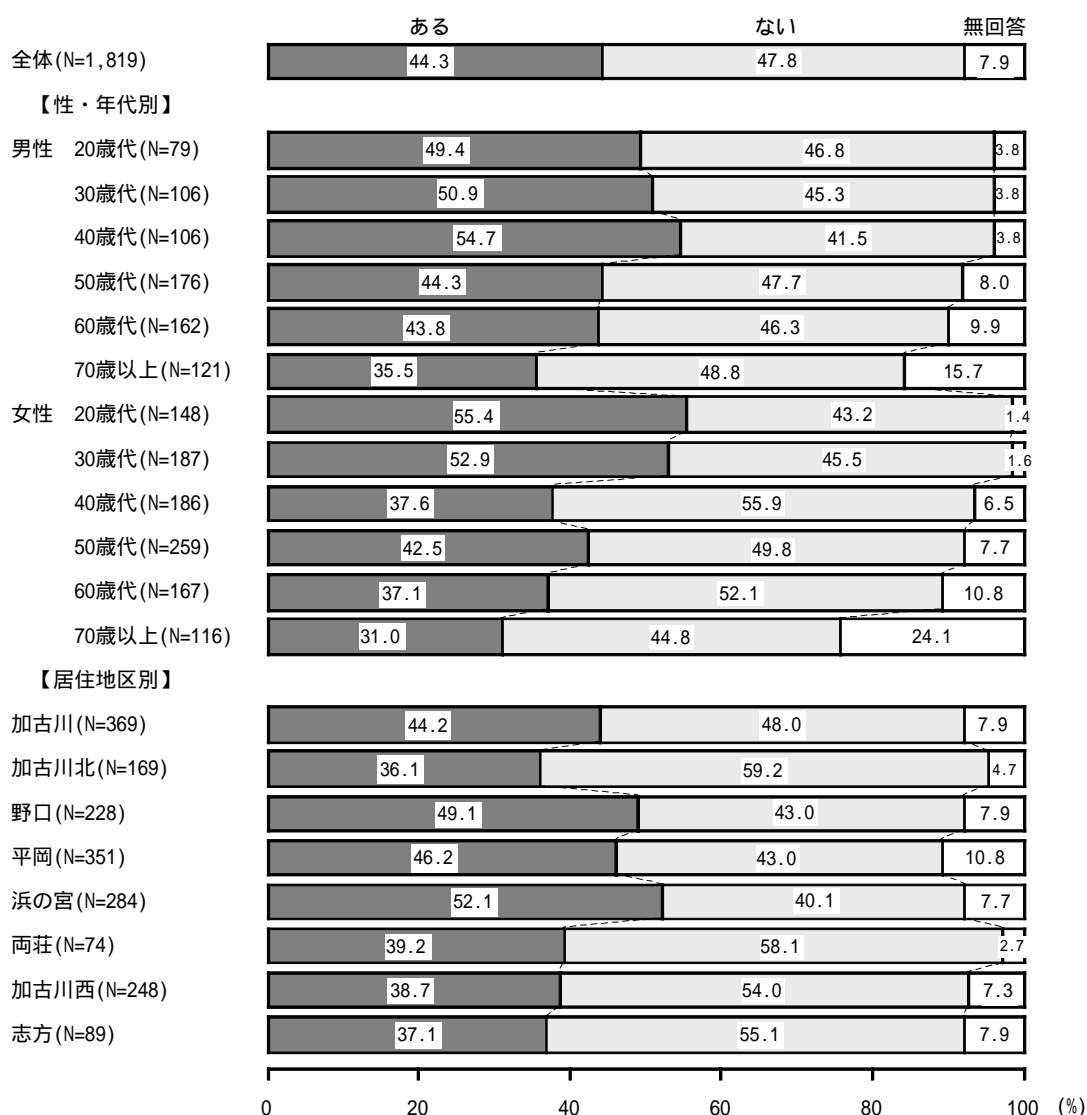
【図5 - 2 - 1 公園についての希望の内容】



公園について『こうしたい』といった希望が「ある」人が全体の44.3%を占め、希望が「ない」人の47.8%より3.5ポイント少なくなっている。(図5 - 2)

また、希望がある人(805人)に希望内容をたずねたところ、「何かしたいが、具体的にはわからない」が41.2%と最も多くなっている。なお、具体的な内容としては「花壇をつくり手入れをしていきたい」21.0%、「今ある公園を造り替えたい」18.4%が多くなっている。(図5 - 2 - 1)

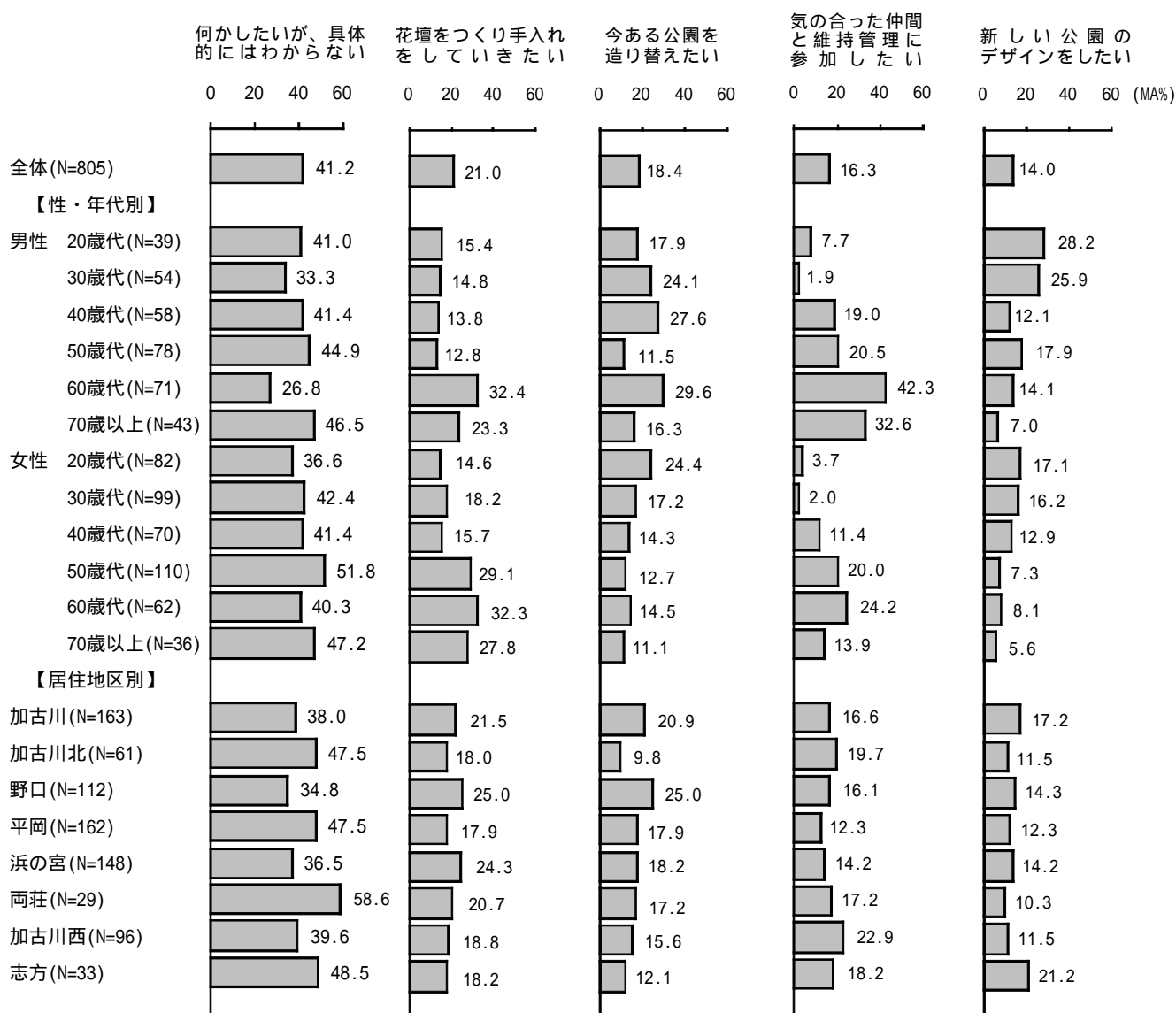
【図5 - 2 - 2 性・年代別、居住地区別 公園についての希望の有無】



公園についての希望の有無について、性・年代別にみると、男女とも20～30歳代では「ある」が「ない」より多いが、50歳代以上では「ない」が「ある」より多くなっている。40歳代については、男性では「ある」が「ない」より多いが、女性では「ない」が「ある」より多く、男女で意見が異なっている。なお、男女ともに「ある」人の割合は、年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。(図5 - 2 - 2)

居住地区別にみると、野口、平岡、浜の宮地区では「ある」が「ない」より多いが、それ以外の地区では「ない」が「ある」より多くなっている。なお、「ある」人の割合が最も高いのは浜の宮地区の52.1%である。(図5 - 2 - 2)

【図5 - 2 - 3 性・年代別、居住地区別 公園についての希望の内容】



公園についての希望の内容について、性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても「何かしたいが、具体的にはわからない」が3割から5割を占め、男性では70歳以上で46.5%、女性では50歳代で51.8%と最も高くなっている。また、具体的な内容については、男性の場合、20～30歳代では「新しい公園のデザインをしたい」が、40歳代では「今ある公園を造り替えたい」が、50歳代以上では「気の合った仲間と維持管理に参加したい」が最も多くなっている。一方、女性の場合は、20歳代では「今ある公園を造り替えたい」が、30歳代以上では「花壇をつくり手入れをしていきたい」が最も多く、各年代とも男女の意見は異なっている。(図5 - 2 - 3)

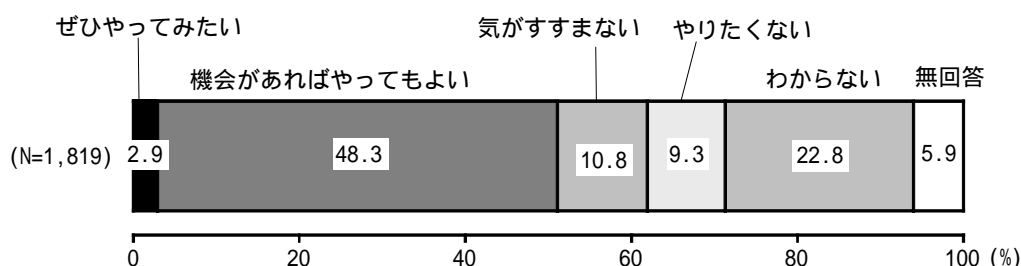
居住地区別にみると、いずれの地区においても「何かしたいが、具体的にはわからない」が4割から6割を占め、両荘地区で58.6%と最も高くなっている。また、具体的な内容については、加古川北、加古川西地区では「気の合った仲間と維持管理に参加したい」が最も多く、それ以外の地区では「花壇をつくり手入れをしていきたい」が最も多くなっている(野口・平岡地区については「今ある公園を造り替えたい」と同率)。(図5 - 2 - 3)

5 - 3 .「公園ボランティア」の参加意向

「公園ボランティア」をやってみたいという人が約5割

問12. あなたは、できる範囲で「公園ボランティア」をやってもよいと思いますか(は1つだけ)

【図5 - 3 「公園ボランティア」の参加意向】

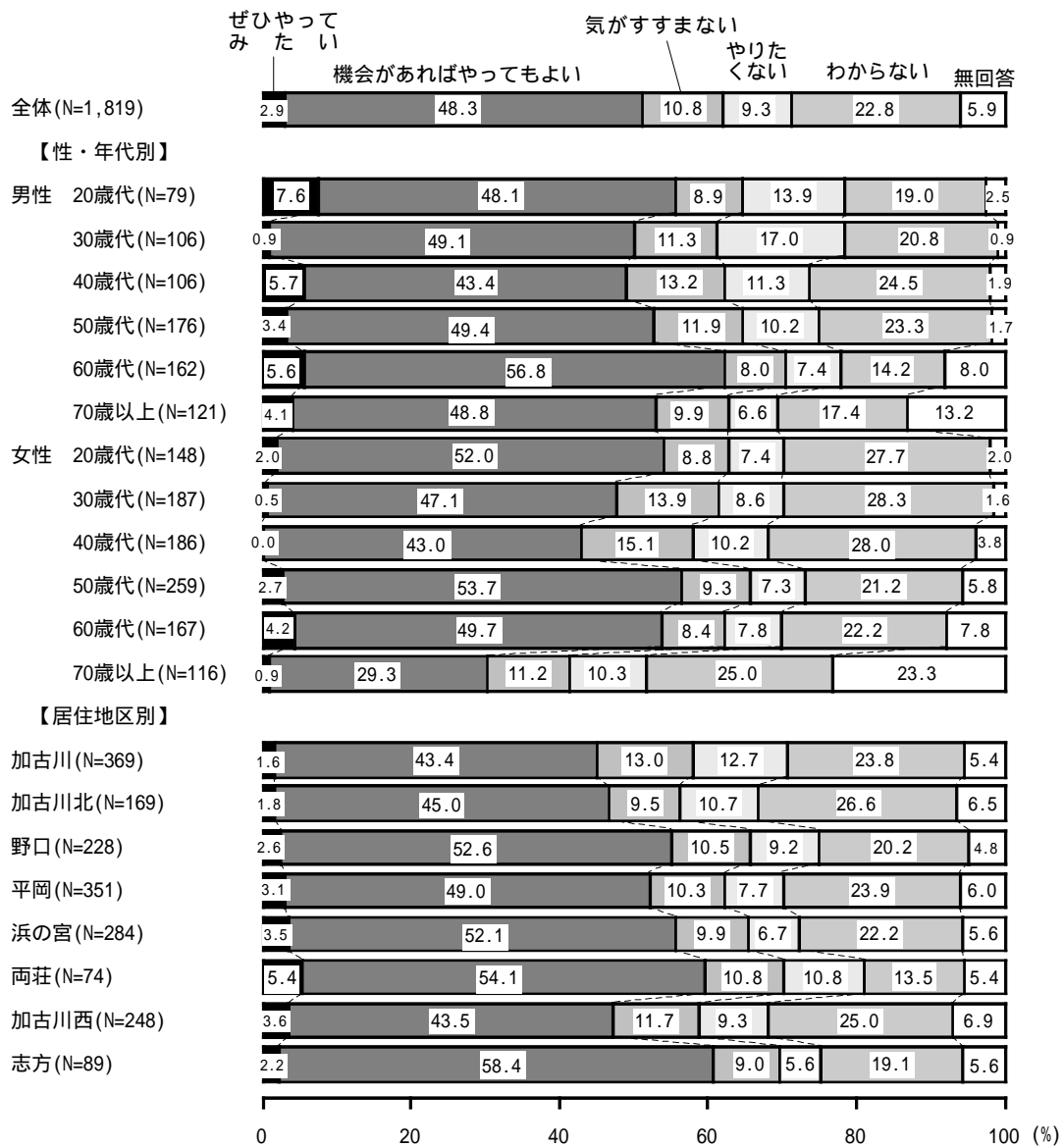


「公園ボランティア」の参加意向についてみると、「機会があればやってもよい」が48.3%と最も多く、「ぜひやってみたい」2.9%を合わせると(以下、『参加意向のある人』とする)全体の51.2%が参加意向をもっている。(図5 - 3)

性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても「機会があればやってもよい」が最も多く、男性では60歳代で56.8%、女性では50歳代で53.7%と最も多くなっている。また、参加意向のある人が最も多いのも、男性では60歳代の62.4%、女性では50歳代の56.4%である。なお、50歳代を除くと、いずれの年代においても参加意向のある人の割合は男性の方が女性より高くなっている。(図5 - 3 - 1)

居住地区別にみると、いずれの地区においても「機会があればやってもよい」が最も多くなっている。なお、参加意向のある人が最も多いのは志方地区60.6%、最も少ないのは加古川地区45.0%である。(図5 - 3 - 1)

【図5 - 3 - 1 性・年代別、居住地区別 「公園ボランティア」の参加意向】

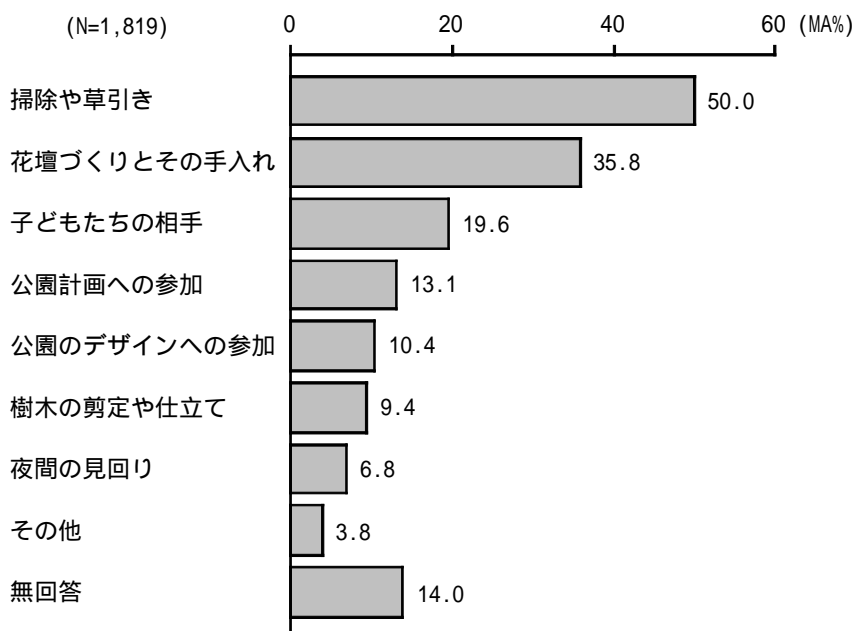


5 - 4 . 公園ボランティアでできると思うこと

全体の5割が、公園ボランティアとして「掃除や草引き」ができると思っている

問13. あなたは、公園ボランティアでどのようなことができると思いますか(はいいくつでも)。

【図5 - 4 公園ボランティアでできると思うこと】

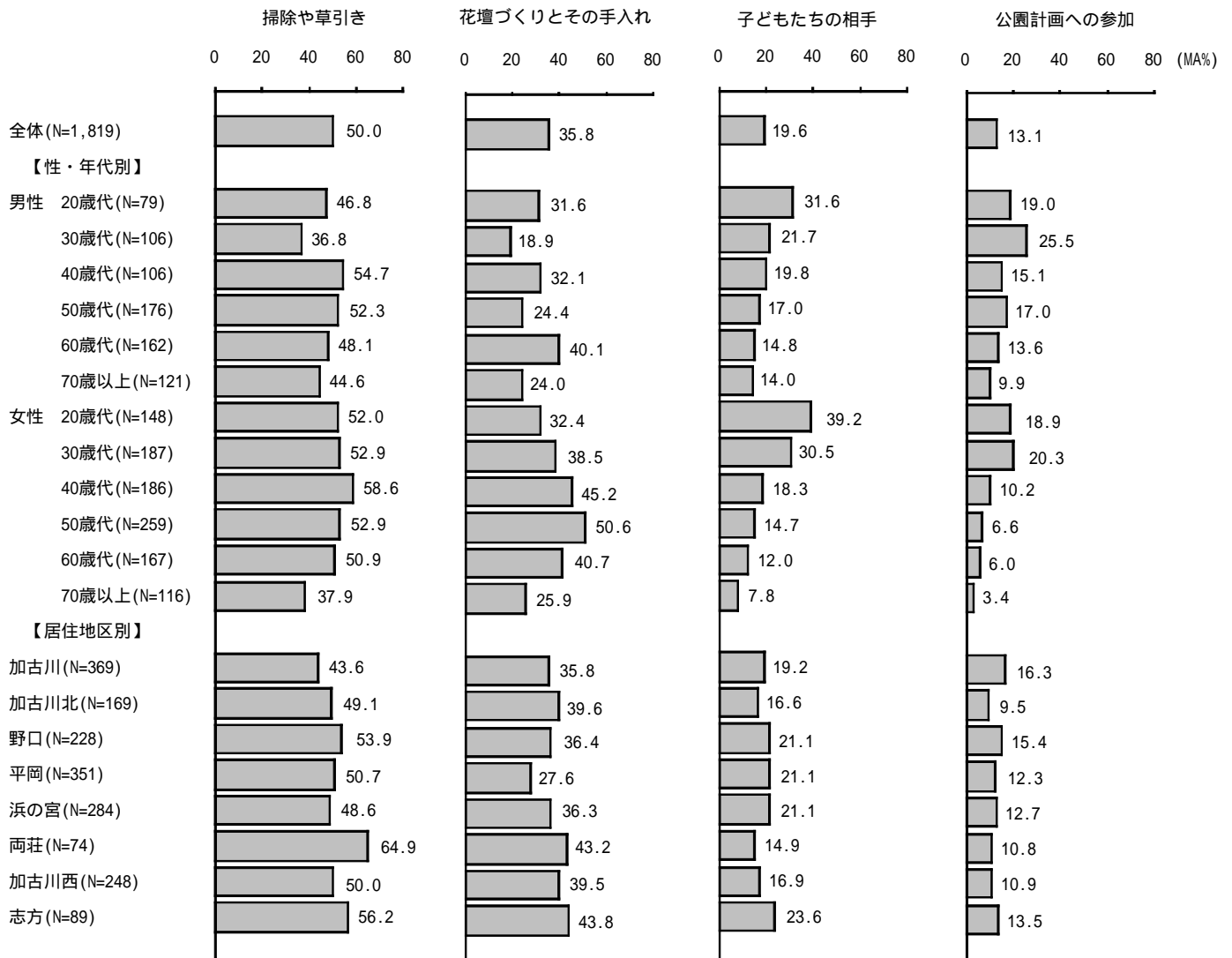


公園ボランティアでできると思うことについては、「掃除や草引き」が 50.0%と最も多く、次いで「花壇づくりとその手入れ」35.8%、「子どもたちの相手」19.6%となっている。(図5 - 4)

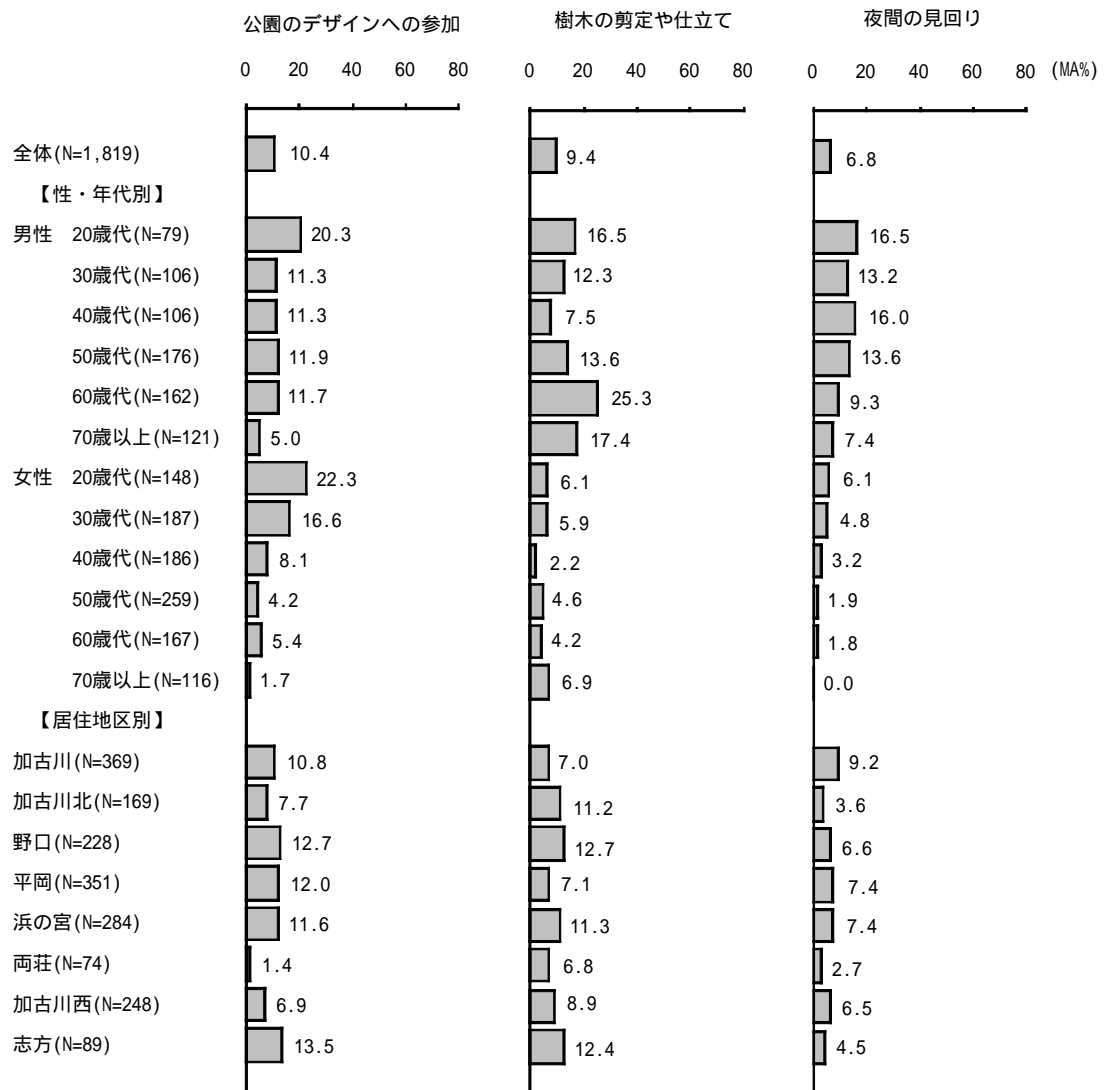
性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても「掃除や草引き」が最も多く、40歳代(男性:54.7%、女性:58.6%)で最も多くなっている。なお、特徴的な項目としては、「花壇づくりとその手入れ」は全体で35.8%であるのに対し、40~50歳代女性で約5割、「子どもたちの相手」は全体で19.6%であるのに対し、20歳代の男女および30歳代女性で3割から4割、「公園計画への参加」は全体で13.1%であるのに対し、20~30歳代の男女で2割前後、「公園のデザインへの参加」は全体で10.4%であるのに対し、20歳代の男女および30歳代女性で2割前後、「樹木の剪定や仕立て」は全体で9.4%であるのに対し、20歳代および60歳以上の男性で2割前後と高くなっている。(図5 - 4 - 1 - 1、2)

居住地区別にみると、いずれの地区においても「掃除や草引き」が最も多く、両荘地区で64.9%と最も多くなっている。なお「公園計画への参加」については、加古川、野口地区で約16%と他の地区に比べて高くなっている。(図5 - 4 - 1 - 1、2)

【図5 - 4 - 1 - 1 性・年代別、居住地区別 公園ボランティアでできると思うこと(1位～4位)】



【図5 - 4 - 1 - 2 性・年代別、居住地区別 公園ボランティアでできると思うこと(5位~7位)】

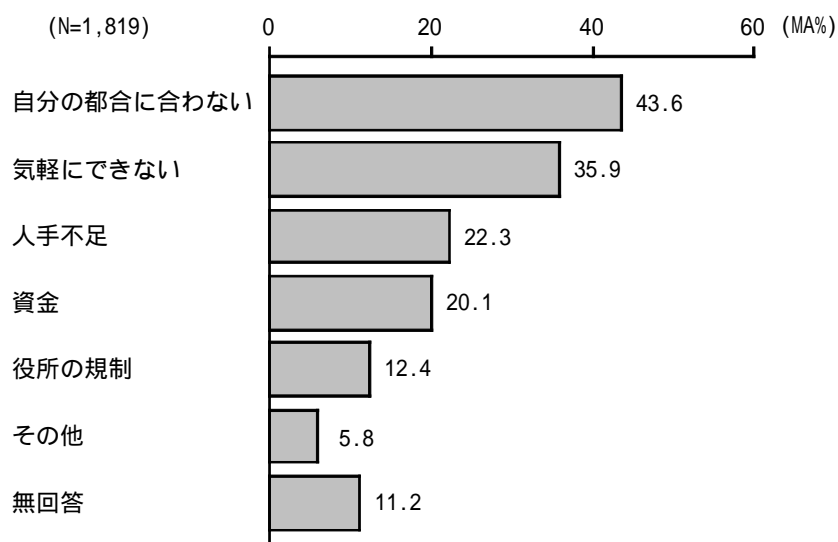


5 - 5 . 公園ボランティア活動の障害

公園ボランティア活動の障害として「自分の都合に合わない」が4割強

問14. あなたは、公園ボランティア活動の障害になると思うことはどのようなことですか。
(はいいくつでも)

【図5 - 5 公園ボランティア活動の障害】

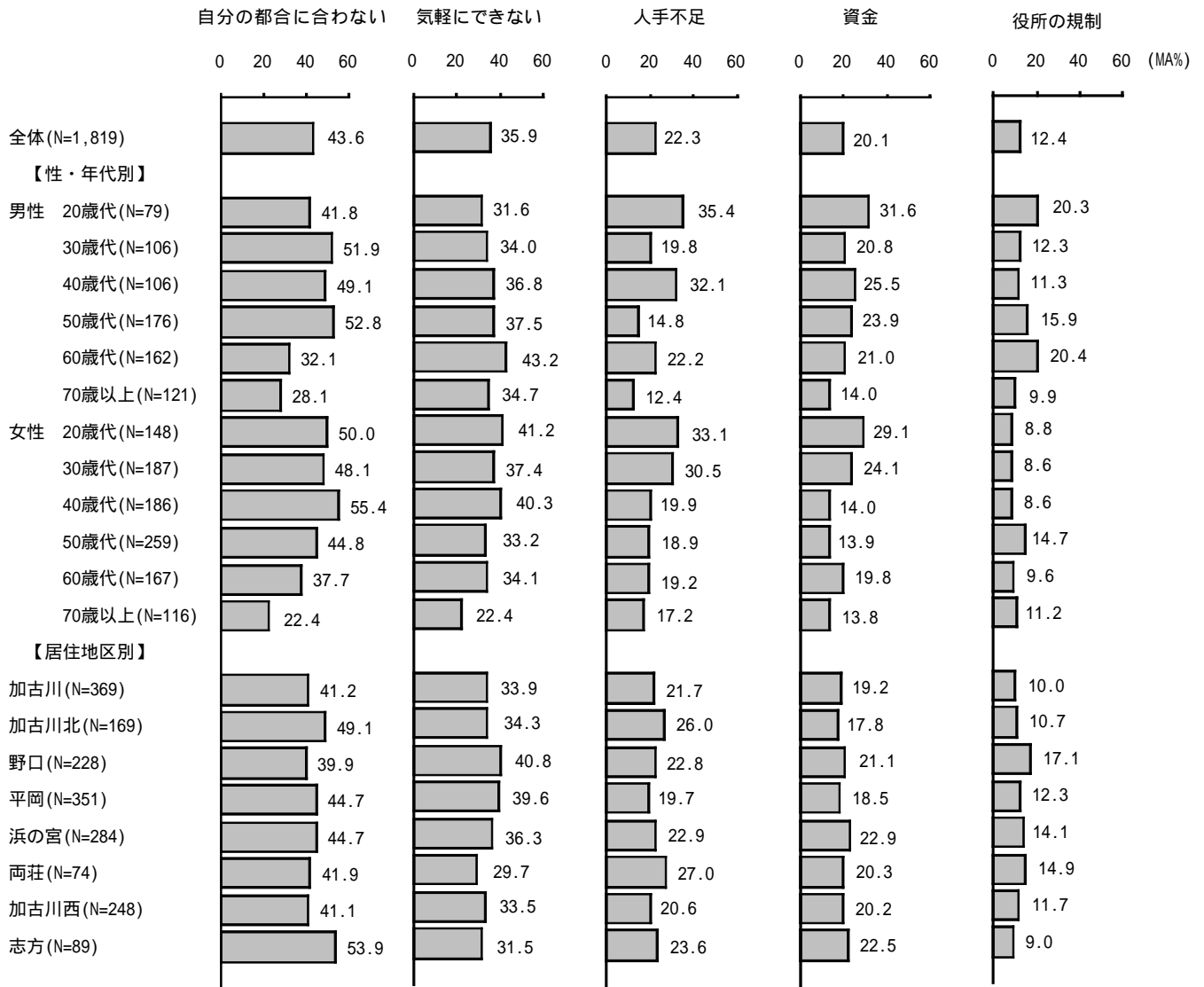


公園ボランティア活動の障害になると思うことについては、「自分の都合に合わない」が43.6%と最も多く、次いで「気軽にできない」35.9%、「人手不足」22.3%、「資金」20.1%となっている。(図5 - 5)

性・年代別にみると、60歳以上の男性で「気軽にできない」が最も多いが、それ以外の年代では「自分の都合に合わない」が最も多く(70歳以上の女性については両者同率)、後者の割合は、特に30~50歳代の男性および20~40歳代の女性で5割前後と高くなっている。特徴的な項目としては、「人手不足」は全体で22.3%であるのに対し、20歳代の男女および30歳代女性、40歳代男性で3割強、「資金」は全体で20.1%であるのに対し、20歳代の男女で3割前後と高くなっている。また「役所の規制」については、20歳代および60歳代で男性の割合が女性より1割以上高くなっている。(図5 - 5 - 1)

居住地区別にみると、野口地区で「気軽にできない」が最も多いが、それ以外の地区では「自分の都合に合わない」が最も多く、後者の割合が最も高いのは志方地区の53.9%である。なお「人手不足」は、両荘、加古川北地区で3割弱と他の地区に比べて高くなっている。(図5 - 5 - 1)

【図5 - 5 - 1 性・年代別、居住地区別 公園ボランティア活動の障害】

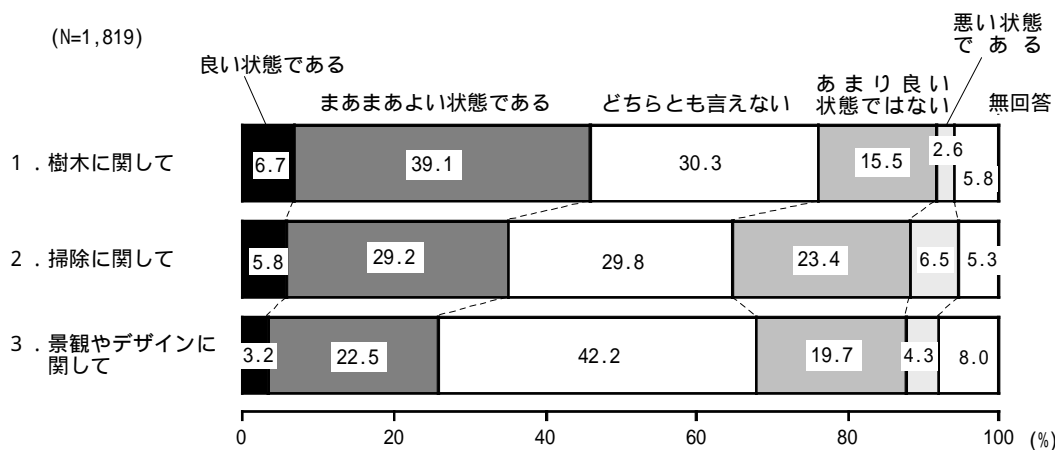


5 - 6 . 公園全般に関する感想

『良い状態である』の割合が最も高いのは「樹木に関して」(45.8%)

問15 . 公園全般に関して、あなたのお気持ちに近いものを選んでください(は1つずつ)

【図5 - 6 公園全般に関する感想】



4 . その他の回答者 (250人、13.7%)

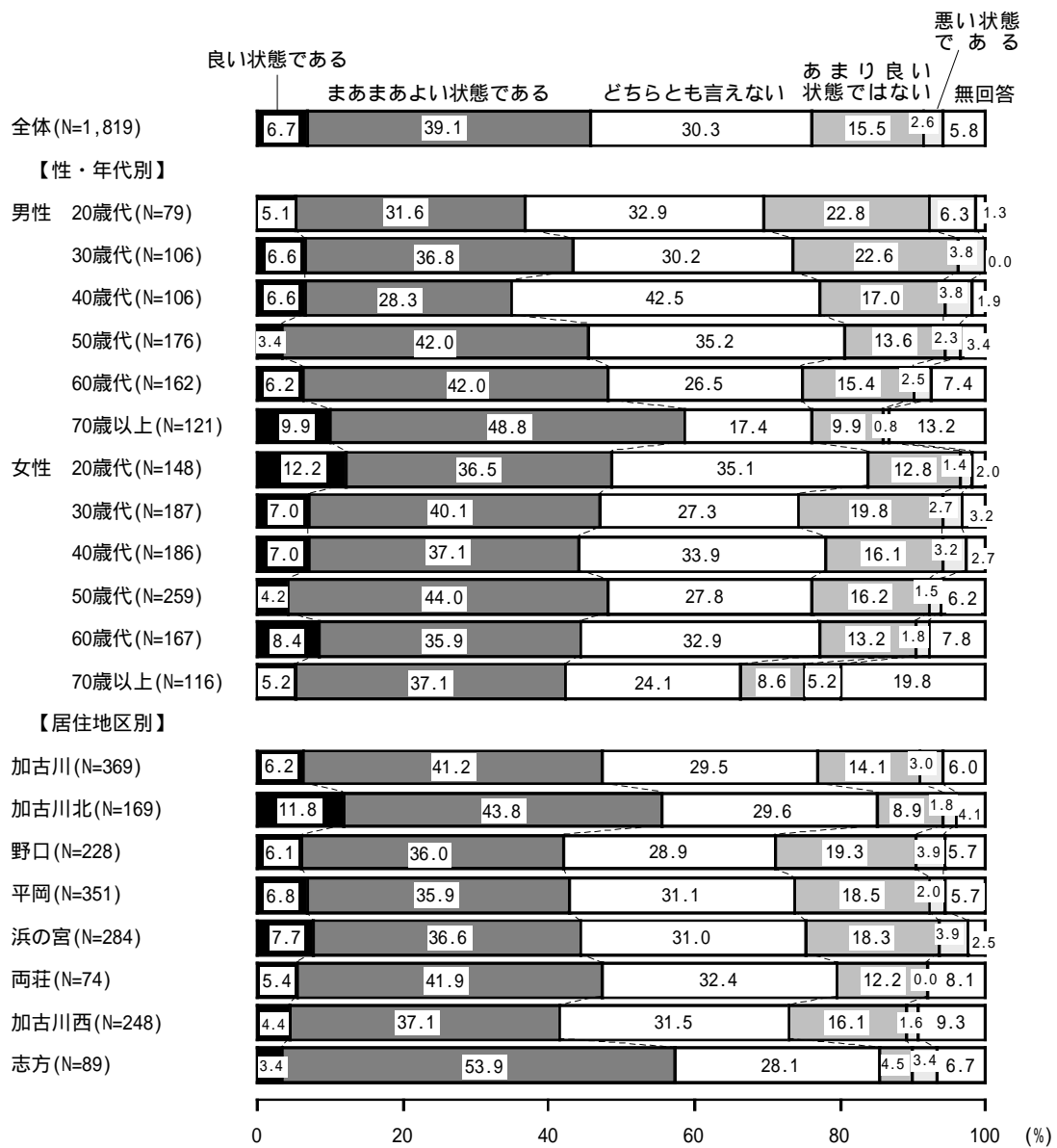
【表5 - 6 その他の具体的内容 (10件以上の項目)】

意見 総数		250
意見内容	犬の糞が放置されていて衛生面で問題があり、子どもを安心して遊ばせられない	26
	公園の数が少なく、近くに公園がない。もっと公園を作って欲しい	26
	樹木の手入れや草刈りなど公園の管理ができていない	20
	誰でも安心して楽しく利用できる公園にして欲しい	18
	遊具が少なく、古くて壊れているなど管理が不十分である	14
	変質者、浮浪者や若者などがたむろしていて安全が心配である	14
	トイレのない公園が多く、設置されていても汚くて管理が不十分である	12
	びんや缶、吸い殻などのゴミが多く汚い	12
	公園に樹木や花などの緑が少ない	12
	公園の樹木が生い茂っていて暗く、外からの見通しが悪く保安上問題がある	11

公園全般に関する感想については、樹木に関しては「まあまあ良い状態である」が最も多いが、それ以外の項目については「どちらとも言えない」が最も多くなっている。なお、『良い状態である』の割合(「良い状態である」「まあまあ良い状態である」を合わせた値)は、樹木に関しては45.8%、掃除に関しては35.0%、景観やデザインに関しては25.7%となっており、いずれについても『悪い状態である』の割合(「悪い状態である」「あまり良い状態ではない」を合わせた値)より高くなっている。(図5 - 6)

また、「その他」に回答した人(250人)の意見の中で、10件以上の回答を得られた項目について、具体的な内容を挙げた。最も件数の多い意見は「犬の糞が放置されていて衛生面で問題があり、子どもを安心して遊ばせられない」「公園の数が少なく、近くに公園がない。もっと公園を作って欲しい」でともに26件となっている。次いで「樹木の手入れや草刈りなど公園の管理ができていない」20件、「誰でも安心して楽しく利用できる公園にして欲しい」18件となっている。(表5 - 6)

【図5 - 6 - 1 性・年代別、居住地区別 1. 樹木に関する感想】

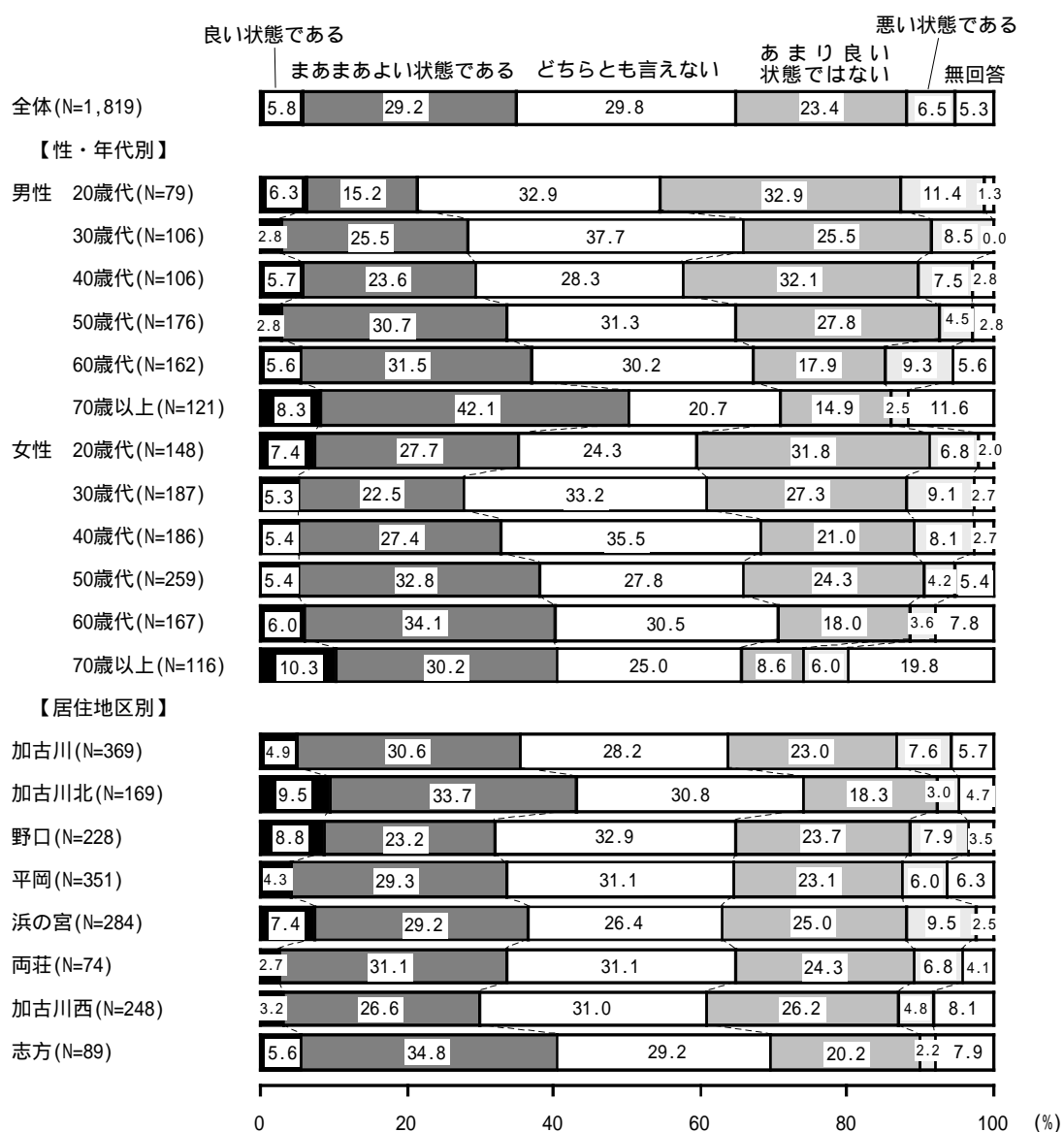


1. 樹木に関して

性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても、『良い状態である』が『悪い状態である』より高くなっている。なお、『良い状態である』が最も高いのは、男性では70歳以上で58.7%、女性では20歳代および50歳代で約48%となっている。一方、『悪い状態である』が最も高いのは、男性では20歳代で29.1%、女性では30歳代で22.5%となっている。(図5 - 6 - 1)

居住地区別にみると、いずれの地区においても『良い状態である』が『悪い状態である』より高くなっている。また、『良い状態である』が最も高いのは志方地区で57.3%、『悪い状態である』が最も高いのは野口地区で23.2%となっている。(図5 - 6 - 1)

【図5 - 6 - 2 性・年代別、居住地区別 2 . 掃除に関する感想】

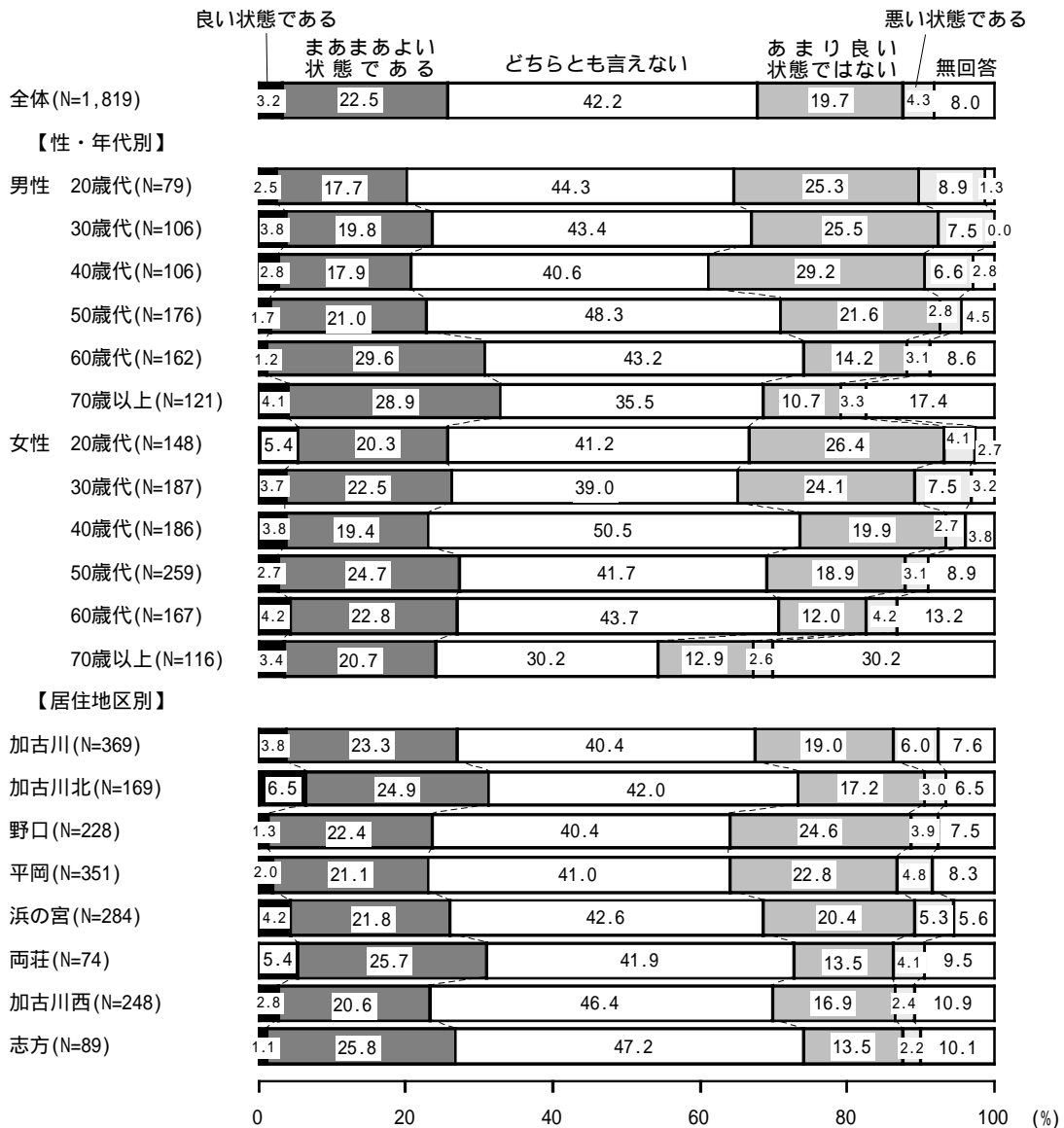


2 . 掃除に関して

性・年代別にみると、男女とも、20～30歳代では『悪い状態である』が『良い状態である』より高いが、50歳代以上では『良い状態である』が『悪い状態である』より高くなっている。40歳代については、男性では『悪い状態である』が『良い状態である』より高いが、女性ではその逆の構成となっている。なお、『良い状態である』が最も高いのは、男女とも70歳以上（男性：50.4%、女性：40.5%）で、60歳代女性でも40.1%と高くなっている。一方、『悪い状態である』が最も高いのは、男女とも20歳代（男性：44.3%、女性：38.6%）で、40歳代男性でも39.6%と高くなっている。（図5 - 6 - 2）

居住地区別にみると、加古川西地区で『悪い状態である』が『良い状態である』より高いが、それ以外の地区では『良い状態である』が『悪い状態である』より高くなっている。また、『良い状態である』が最も高いのは加古川北地区で43.2%、『悪い状態である』が最も高いのは浜の宮地区で34.5%となっている。（図5 - 6 - 2）

【図5 - 6 - 3 性・年代別、居住地区別 3 . 景観やデザインに関する感想】



3 . 景観やデザインに関して

性・年代別にみると、男女とも、20～30歳代では『悪い状態である』が『良い状態である』より高いが、60歳代以上では『良い状態である』が『悪い状態である』より高くなっている。40～50歳代については、男性では『悪い状態である』が『良い状態である』より高いが、女性ではその逆の構成となっている。なお、『良い状態である』が高いのは、男性では60歳代以上で30～33%、女性では50～60歳代で約27%となっている。一方、『悪い状態である』が高いのは、男性では20～40歳代で33～36%、女性では20～30歳代で約31%となっている。(図5 - 6 - 3)

居住地区別にみると、野口、平岡地区で『悪い状態である』が『良い状態である』より高いが、それ以外の地区では『良い状態である』が『悪い状態である』より高くなっている。また、『良い状態である』が最も高いのは加古川北、両荘地区で約31%、『悪い状態である』が最も高いのは野口、平岡地区で約28%となっている。(図5 - 6 - 3)